



# 港区

港区は、都心にあつて緑と水辺、起伏に富んだ自然の地形に恵まれ、先人から受け継ぎ大切に守ってきた歴史と伝統が息づく、多様な魅力にあふれるまちです。現在、区内の各地では、「あらゆる危機に強く、誰もが安全に安心して暮らすことができ、環境負荷の少ない持続可能なまち」の実現を目指し、活気にあふれた、魅力あるまちづくりが進められています。

## 職場の雰囲気

区では、役割分担や立場を超えたコミュニケーションの活性化と業務効率の向上などを目的に、段階的にフリーアドレス化に取り組んでいます。

既に土木管理課の執務室はフリーアドレス化され、フロア全体が見渡せるきれいな職場環境に技術職と事務職の幅広い世代の職員が執務しています。

土木管理課には、女性や若手職員が多く所属しており、土木施設の財産管理、境界確定、監察指導など係によって業務内容は大きく異なりますが、普段から係や職種を超えて気さくに意見交換を行える、とても風通しの良い職場です。



## 虎ノ門・麻布台地区のまちづくり（建築）

虎ノ門・麻布台地区では、居住機能と商業・業務、文化、教育、医療の各機能が複合した、国際性豊かで、緑とうるおいのある安全・安心な複合市街地の形成を目指し、約8.1ヘクタールという広大な区域で市街地再開発事業が施行されています。

外国人を含む様々な人々が住み続けられる生活環境を整備し、災害対応力と環境性能の高い、地域の拠点となるまちづくりの実現に向けて、関係者が連携して取り組んでいます。

港区には、区民の期待に応え、まちの未来への展望を描きながら、うるおいある国際生活都市の実現に向けて、能力を遺憾なく発揮できるフィールドが沢山あります。



提供：虎ノ門・麻布台地区市街地再開発組合

## グリーンスローモビリティ実証実験（地域交通）

区は、交通における地域課題を解決するため、国土交通省の「グリーンスローモビリティを活用検討にむけた実証調査支援事業」として、都心区における旅行者・居住者向けの実証実験を実施しました。

実証実験は、令和3年11月9日～12月6日まで浜松町・竹芝エリアと高輪・白金・白金台エリアの2つのエリアで、2台のグリーンスローモビリティ（4人乗り）を使用して実施しました。

実証実験を通じて、浜松町・竹芝エリアでは、竹芝地区の周遊性や浜松町を中心とした東西の移動手段として、高輪・白金・白金台エリアでは、コミュニティバスが走行できない場所での高齢者の移動手段としての可能性を検証しました。

### グリーンスローモビリティとは？

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。「環境性の高さ」「コンパクト」「乗降のしやすさ」「静音」などが特長。

